

平成 25 年度日本植物病理学会関西部会プログラム

日程 平成 25 年 9 月 26 日 (木), 9 月 27 日 (金)
 会場 岡山大学創立 50 周年記念館
 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中 1-1-1
<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/kinenkan-index.html>
 受付 1F 入口ロビー
 事務局 1F 控室

第 1 日 (9 月 26 日)

11:30~ 受付開始 1F 入口ロビー ポスター掲示開始 1F・2F フリースペース	
12:30~13:30 総会：多目的ホール (第 1 会場) 部会長講演：多目的ホール (第 1 会場) 部会長 久保康之 氏 植物病原糸状菌の感染戦略の解明をめざして -ウリ類炭疽病菌の感染器官分化と病原性研究-	
13:45~15:45 口頭発表 第 1 会場 (多目的ホール) 第 2 会場 (2F 会議室)	
13:45~15:45 101~110 感染生理 (糸状菌病・細菌病)	13:45~15:45 201~210 分類・同定・診断, 発生生態 (糸状菌病・細菌病・ウイルス病)
16:00~17:00 ポスター発表 奇数番号 ポスター会場 (1F・2F フリースペース)	
17:00~18:00 ポスター発表 偶数番号 ポスター会場 (1F・2F フリースペース)	
19:00~21:00 懇親会 (リーセントカルチャーホテル) http://www.culture-hotel.com/	

第 2 日 (9 月 27 日)

9:00~12:36 口頭発表 第 1 会場 (多目的ホール) 第 2 会場 (2F 会議室)	
9:00~12:36 111~128 感染生理 (糸状菌病・細菌病・ウイルス病)	9:00~12:36 211~228 発生生態, 防除 (細菌病・糸状菌病・ウイルス病) 感染生理 (細菌病)

お願い

部会参加の皆様へ

- ・ 部会受付（総合受付）は、50周年記念館 1F 入口ロビーです。当日参加の方もこちらで受付をさせていただきます。
- ・ 名札と領収書の払い込み金額をご確認下さい。別途領収書の必要な方は当日受付でお申し出下さい。
- ・ 名札は会場内では常時身につけて下さい。名札ケースは受付横に用意してあります。
なお、名札ケースは毎年の関西部会で再利用していますので、部会終了時に各会場入り口にて回収させていただきます。
- ・ 休憩室は 1F ゲストルームに用意しましたのでご利用下さい。
- ・ 講演会場内では携帯電話の電源をお切り下さい。
- ・ 施設内は全館禁煙で、会場周辺にも喫煙場所がありません。
- ・ 会場建物では岡山県公衆無線 LAN スポット「おokayamaモバイル SPOT」が利用できます。
ID・パスワード取得手順および LAN スポットへの接続手順は以下のページをご覧ください。
<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-92825.html>
- ・ 部会スタッフは緑色のリボンを付けています。不明の点や要望などがありましたら、ご遠慮なくお申し出下さい。

口頭発表の皆様へ

- ・ 発表時間 10 分（予鈴 8 分）、討論時間 2 分の計 12 分です。演題数が多いため、時間厳守でお願いします。
- ・ スライド映写は Windows 版 PowerPoint 2010で行います。発表用ファイルは PowerPoint 2007 以降のファイル形式（拡張子が pptx）で保存し、Windows 版 PowerPoint 2010 で正常に表示されることを確認のうえで持参下さい。PowerPoint 2003 等で作成されたファイル（拡張子が ppt）の拡張子だけを書き換えしないで下さい。
- ・ スライド作成に際しては、特殊なフォントや機種依存文字は使わないで下さい。また、後部座席からでも判読できるように小さい文字や細かい図表の使用は避けて下さい。
- ・ 発表スライドのファイル名は「発表番号・発表者氏名」（例えば、101 一瀬勇規、発表番号と氏名の間にスペースなし、括弧「」は不要）で表記して下さい。
ファイルは USB メモリで持参し、1 日目の発表者は 9 月 26 日（木）13:00 まで、2 日目の発表者は 9 月 26 日（木）18:00 までに提出をお願いします。また、提出時にご自身で動作をご確認下さい。USB メモリはその場で返却しますが、念のため発表終了までは身につけておいて下さい。
- ・ PC 上のファイルは発表終了後に責任をもって速やかに完全に消去します。さらに、PC のドライブはレンタル規定にしたがって初期化されます。
- ・ 各発表の PowerPoint スライドショーの開始・終了は会場係が行いますが、発表中のスライド送りは、レーザーポインターのボタン操作で発表者ご自身に行っていただきます。
- ・ 講演要旨の訂正箇所が多い場合（訂正が数カ所以上）は、訂正要旨のプリントアウトを座長に提出して校閲を受けるとともに、最終的な訂正原稿のファイルを 10 月 9 日（水）までに、メールに添付して関西部会プログラム担当用アドレス (byori-pg@okayama-u.ac.jp) まで送付し、必ず受領連絡をお受取下さい。

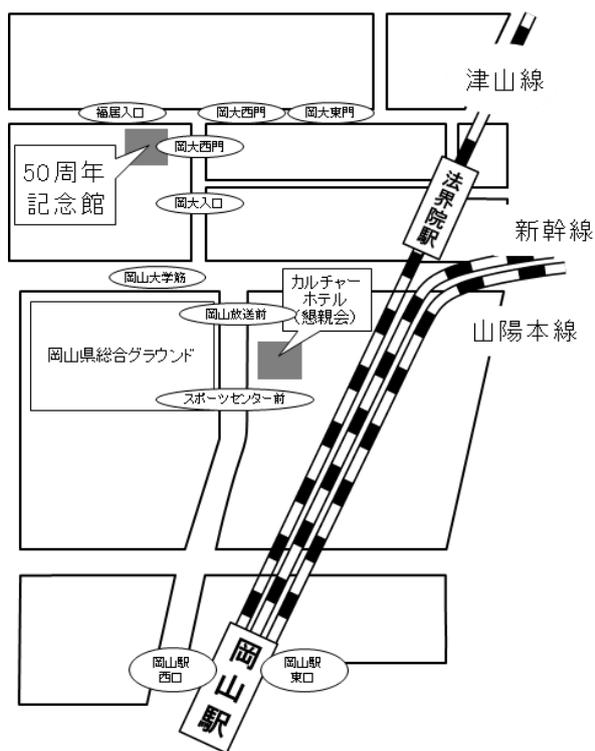
座長(ポスター座長を含む)の皆様へ

- ・ 部会前に講演要旨を読み、必要があれば事前のメールや部会当日の発表者との直接打合せ等で、要旨の訂正をお願いして下さい。
- ・ 発表者から要旨の訂正依頼があった場合は、座長用の講演要旨集に赤字で直接記入するか、該当ページに訂正原稿を挟み込んで下さい。講演要旨の訂正箇所が多い場合は、訂正要旨のプリントアウトを校閲し、発表者に対して訂正原稿のファイルを10月9日(水)までに関西部会プログラム担当宛に送付するようご指示下さい。
- ・ 発表10分(予鈴8分)、討論2分の計12分の時間厳守で進行をお願い致します。

ポスター発表の皆様へ

- ・ ポスター用紙のサイズは縦105×横80cmで作成して下さい。
- ・ ポスターは、1日目(9月26日)11:30より掲示できます。ポスター番号がパネル左上に表示されていますので、ポスター発表開始時刻までに掲示をお願いします。
- ・ 掲示用のピン・セロテープは会場で準備しております。
- ・ ポスターの撤去は、2日目(9月27日)の12:30までをお願いします。撤去時間が過ぎても残されているポスターは事務局で処分させていただきますのでご了承下さい。
- ・ 奇数番号の発表は1日目の16:00~17:00に、偶数番号の発表は1日目の17:00~18:00に行います。発表時間の間はポスターの前で質疑に応じるようにお願いします。
- ・ 要旨の訂正については口頭発表(前頁)と同様に行なって下さい。

会場までのアクセス



<会場までのアクセス(大学HP)>

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/50kinenkan02.html>

- 1) 岡山駅西口から岡電バス「岡山理科大学」行に乗り、「岡大西門」で下車して徒歩約1分

<http://www.okayama-kido.co.jp/bus/jikoku/pdf/gakuen.pdf>

- 2) 岡山駅東口から岡電バス「岡山大学・妙善寺」行に乗り、「岡大西門」で下車して徒歩約1分

<http://www.okayama-kido.co.jp/bus/jikoku/pdf/mimyoha.pdf>

- 3) 岡山駅東口から岡電バス「津高営業所」行に乗り、「岡山大学筋」で下車して徒歩約7分

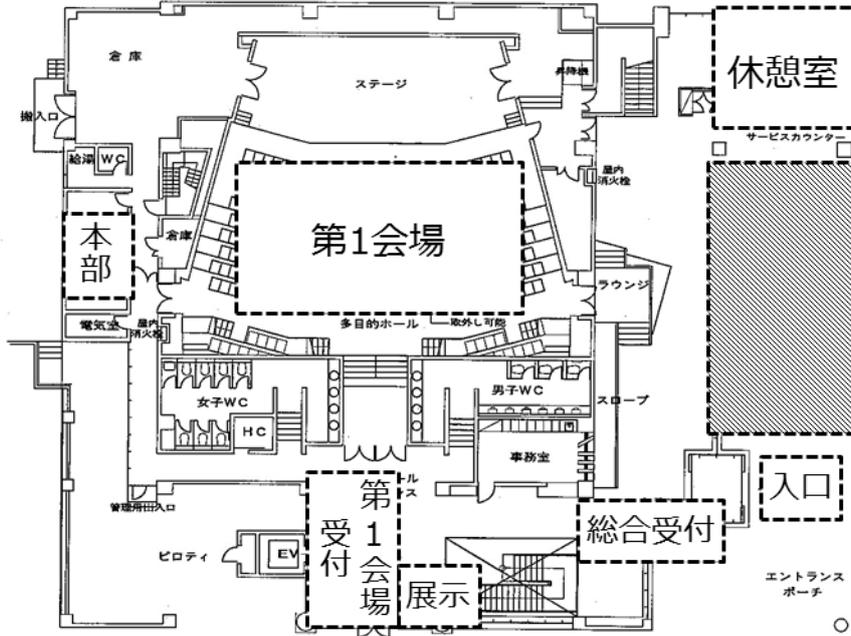
http://www.okayama-kido.co.jp/bus/jikoku/pdf/53go_hei.pdf

※岡山駅東口からの2)と3)の路線は市内を廻るため時間がかかります。

- 4) 岡山駅西口からタクシーで約7分。

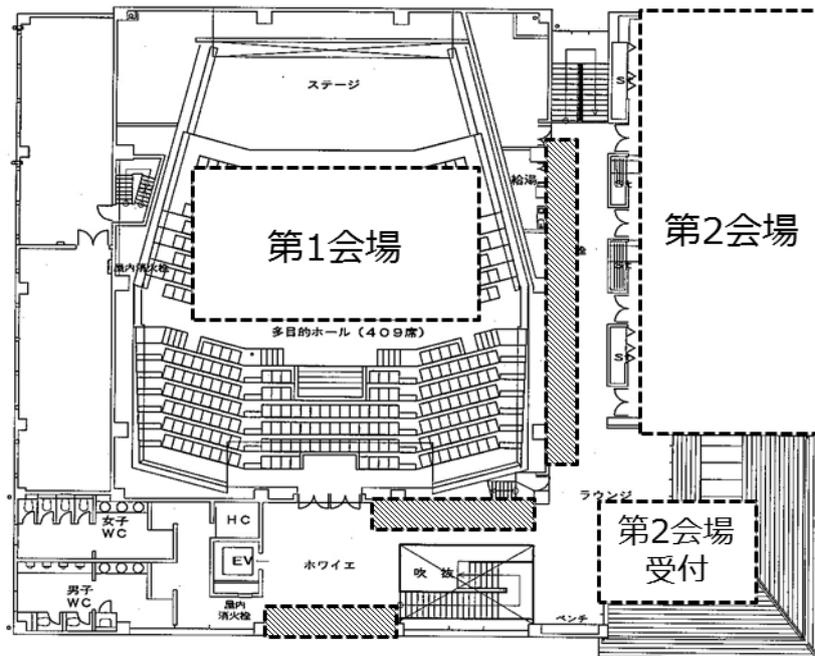
- 5) 岡山駅から徒歩約30分

1F



 ポスター掲示場所

2F



 ポスター掲示場所

9月26日		第1会場
		座長 高野義孝 (京大院農)
13:45	101	イネジャスモン酸シグナル制御因子 OsJAZ8 の制御下にある転写因子の解析 ○山田祥子・宍戸穂高・玉置大介・秋光和也・五味剣二 (香川大農)
13:57	102	イネにおいてジャスモン酸シグナル制御因子 OsJAZ8 と相互作用する転写因子の解析 ○玉置大介・宍戸穂高・山田祥子・秋光和也・五味剣二 (香川大農)
14:09	103	イネにおけるジャスモン酸応答性揮発性物質の白葉枯病抵抗性における役割の解析 ○谷口しづく・細川-篠永有美・玉置大介・山田祥子・秋光和也・五味剣二 (香川大農)
14:21	104	シロイヌナズナのイネいもち病菌に対する非宿主抵抗性における MPK6 と AtRbohF の関与 出雲直也・植出悠紀・野崎美沙・大川ちはる・○石川敦司 (福井県立大生資)
14:33	105	複数の WRKY 型転写因子は抵抗性遺伝子に依存した活性酸素生産に関与する ○安達広明・石濱伸明*・中野孝明**・宮川典子***・吉岡美樹・八丈野孝****・白須 賢*・吉岡博文 (名大院生農・*理研 PSC・**住友化学・***JA 全農宮岐セ・****愛媛大農)
		座長 上中弘典 (鳥取大農)
14:45	106	リン酸化修飾による NADPH オキシダーゼの活性化には複数の CDPK が関与する ○白石佑太郎・吉岡美樹・安達広明・吉岡博文 (名大院生農)
14:57	107	イネの OsRLCK185 は NADPH オキシダーゼである OsRBOHI を介して活性酸素生成を誘導する ○吉岡美樹・白石佑太郎・山口公志*・川崎 努*・吉岡博文 (名大院生農・*近大農)
15:09	108	一酸化窒素が活性化するジャスモン酸シグナル伝達機構の解明 ○三田村梨帆・野元美佳*・森毅・時澤睦朋**・秋光和也・山本義治***・多田安臣**** (香川大農・愛媛大院連合農*・岐阜大院連合農**・岐阜大応生***・香川大総セ****)
15:21	109	植物免疫における OsPUB44 の機能解析 ○石川和也・山口公志・井上健人・坂本一明・村口由一郎・北野詩織・小川まどか・津下誠治*・川崎努 (近畿大農・*京府大院生命)
15:33	110	ペンサミアナタバコの核膜孔複合体タンパク質 Nup75 は MAPK の発現制御を介して防御応答を調節する。 ○大津美奈・柴田裕介・森 仁志・川北一人・竹本大吾 (名大院生農)

16:00 ~ 17:00	ポスターセッション 奇数番号
17:00 ~ 18:00	ポスターセッション 偶数番号

9月26日		第2会場
		座長 東條元昭 (大阪府大院生環)
13:45	201	広島県内に発生するアブラナ科植物根こぶ病菌の病原性 ○弓山ひかる・竹本拓馬・甲村浩之・長久逸*・奥 尚 (県立広島生命環境・*広島総研農技セ)
13:57	202	LAMP 法による土壌中のアブラナ科野菜根こぶ病菌の検出 ○鈴木啓史・黒田克利・辻朋子・村上弘治*・對馬誠也** (三重農研・* (独) 近中四農研・** (独) 農環研)
14:09	203	A new species of the genus <i>Phytophthora</i> causing a stem blight in white trumpet lily in Japan ○Rahman, M.Z., Uematsu, S.,* Motohashi, K.,** Kimishima, E.,*** Suga, H.**** and Kageyama, K.***** (The Unitd. Grad. Sch. of Agril. Sc., Gifu Univ. ・*Chiba Prefectl. Agric. and Forestry Res. Cent. ・**Tokyo Univ. of Agric. ・***Yokohama Plant Protec. Sta. ・****Life Sc. Res. Cent., Gifu Univ. ・*****River Basin Res. Cent., Gifu Univ.)
14:21	204	3種類の高温性 <i>Pythium</i> 属菌のポインセチアに対する病原性に及ぼす温度の影響 ○三宅律幸・永井裕史・景山幸二* (愛知農総試・*岐大流域研セ)
14:33	205	ハウレンソウ養液栽培における高温性ピシウム病害の診断 ○渡辺秀樹・村元靖典・足立昌俊・景山幸二* (岐阜農技セ・*岐阜大流域研セ)
		座長 西口正通 (愛媛大農)
14:45	206	キュウリモザイクウイルスサブグループ II に感染したレタスの病徴と感染時期との関係 ○楠 幹生 (香川農試病害虫防除所)
14:57	207	キクの子葉矮化ウィロイドの検出方法の検討および奈良県内における感染状況 ○浅野峻介・平山喜彦・仲 照史・印田清秀・松下陽介* (奈良農総セ・*花き研)
15:09	208	愛知県におけるキュウリ黄化えそ病の発生生態 ○武山桂子 (愛知農総試)
15:21	209	レタスビッグベイン随伴ウイルスによって引き起こされるレタスの根えそ症状 ○野見山孝司・関口博之・富岡啓介・大崎秀樹・宮川久義・竹原利明・笹谷孝英* (近中四農研・*九沖農研)
15:33	210	Characterization of a New Strain of <i>Melon necrotic spot virus</i> missing p7B isolated from cucumber in Japan. ○Hassan, N*, Yamagishi, N., Isogai, M., Yoshikawa, N. (Iwate University Graduate School of Agriculture ・*Gifu university Graduate School of Applied Biological Science)

16:00 ~ 17:00	ポスターセッション 奇数番号
17:00 ~ 18:00	ポスターセッション 偶数番号

9月27日		第1会場
		座長 吉岡博文（名大院生農）
9:00	111	シロイヌナズナ <i>pen2</i> 変異体への不適応型炭疽病菌の侵入後における植物ディフェンシンの発現誘導 ○末本遥香・福永 聡・石川敦司*・高野義孝（京大院農・*福井県大生資）
9:12	112	希少糖の植物への作用 (30): D-Allose 処理により HXK 依存的に発現制御されるオーキシン関連遺伝子の選抜 ○福元健志・井上 恵・松平一志・加野彰人・大谷耕平・何森 健・田島茂行・重松由夫*・小原敏明*・河西史人*・石田 豊**・市村和也・多田安臣・五味剣二・秋光和也（香川大農・*三井化学アグロ・**四国総合研）
9:24	113	希少糖の植物への作用 (31): D-Allose に誘導されるイネ活性酸素生産酵素複合体に関する研究 ○井上恵・加野彰人・福元健志・大谷耕平・何森 健・田島茂行・小原敏明*・重松由夫*・河西史人*・石田 豊**・市村和也・多田安臣・五味剣二・秋光和也（香川大農・*三井化学アグロ・**四国総合研）
9:36	114	ウリ類炭疽菌における <i>CoRAS2</i> は孢子発芽や病原性に必要であり、上流因子として <i>Comekk1-Cmk1</i> 経路に関与する ○原田 賢・久保康之（京府大院・生環）
9:48	115	ウリ類炭疽病菌の <i>CoBub2/CoBfa1</i> は付着器分化過程における G1/S 期の進行制御および病原性に関与する ○深田史美・坂口 歩・久保康之（京都府大院生環）
		座長 中屋敷均（神戸大院農）
10:00	116	ウリ類炭疽病菌の <i>CoTEA4</i> は非生物的シグナルの受容を介した付着器形成に関与する ○河下美都里・坂口 歩・久保康之・辻 元人（京府大院生環）
10:12	117	ACT 毒素生合成における NRPS をコードする <i>ACTTS4</i> 遺伝子の機能解析 ○勝本真衣・小川将興・石本卓也・二階堂佐紀・大谷耕平・溝淵優希・宮本蓉子・増中章・福元健志・柘植尚志*・山本幹博**・五味剣二・多田安臣・市村和也・秋光和也（香川大農・*名大院生農・**岡大院環境生命）
10:24	118	Thioesterase/cyclase をコードする <i>Alternaria leaf spot</i> 病菌遺伝子の ACR 毒素生合成における役割の検討 ○二階堂佐紀・大谷耕平・和泉悠利子・増中章・五味剣二・多田安臣・市村和也・秋光和也（香川大農）
10:36	119	ACR 毒素感受性遺伝子 <i>ACRS mRNA</i> 修飾に関わる複合体形成タンパク質の解析 ○大谷耕平・小川実可子・北川耕次・安田晋輔・西村 聡・三宅ちか子・多々納智・小野由紀子・多田安臣・市村和也・五味剣二・秋光和也（香川大農）
10:48	120	イチゴ黒斑病菌の AF 毒素生合成遺伝子クラスターにコードされる <i>AFTII</i> の機能と <i>Alternaria alternata</i> 病原菌における分布 ○近藤日佳理・原 歩美・播本佳明・山本幹博*・秋光和也**・柘植尚志（名大院生農・*岡山大農・**香川大農）

9月27日		第2会場
		座長 奥 尚 (県立広島生命環境)
9:00	211	鉄コーティング湛水直播イネにおける <i>Pythium graminicola</i> と <i>P. arrhenomanes</i> の分離頻度と発病温度の比較 藤川奈那央・松浦昌平*・○東條元昭 (大阪府大院生環・*広総研農技セ)
9:12	212	国内分離株に見られる <i>Fusarium fujikuroi</i> の2系統と国外分離株との関係 ○須賀晴久・新井満大*・船坂美佳・清水将文*・景山幸二**・百町満朗* (岐大生命セ・*岐大応生・**岐大流域研セ)
9:24	213	ショウガ白星病の罹病残さからの感染 ○森田泰彰・矢野和孝 (高知農技セ)
9:36	214	タマネギの春まき作型確立のための各種病原菌の発病温度特性の把握 ○守川俊幸・田村美佳・白川 隆* (富山農総セ農研、*野茶研)
9:48	215	モモせん孔細菌病の発病程度に影響を与える要因のロジスティック回帰 ○川口 章 (岡山農研)
		座長 鈴木啓史 (三重農研)
10:00	216	スライド凝集反応によるアブラナ科野菜黒斑細菌病の迅速診断法 ○石山佳幸・山岸菜穂・小松和彦*・藤永真史 (長野野花試・*佐久普小海支)
10:12	217	ハクサイ黒斑細菌病に対するプロペナゾール剤の苗処理による発病抑制効果 石山佳幸・山岸菜穂・○藤永真史 (長野野花試)
10:24	218	アゾキシストロビン剤耐性レタス灰色かび病菌の発生 ○西村文宏・楠 幹生 (香川農試病害虫防除所)
10:36	219	岡山県内のブドウ晩腐病菌のアゾキシストロビンに対する感受性 ○井上幸次 (岡山農研)
10:48	220	温湯種子消毒が育苗期のセルリ萎縮炭疽病および斑点病の発生に及ぼす影響 ○山岸菜穂・石山佳幸・藤永真史 (長野県野菜花き試験場)

9月27日		第1会場
		座長 須賀晴久 (岐大生命セ)
11:00	121	AAL 毒素生成における aminotransferase ALT4 の基質特異性および病原性との関連 ○赤木靖典・石原 亨・柘植尚志*・難波栄二**・児玉基一郎 (鳥取大農・*名大院生農・**鳥取大医)
11:12	122	非病原性 <i>Alternaria alternata</i> における宿主特異的 AAL 毒素生成遺伝子クラスター導入菌株の作出と解析 ○高尾和実・赤木靖典・柘植尚志*・難波英二**・児玉基一郎 (鳥取大農・*名大院生農・**鳥取大医)
11:24	123	トマト褐色輪紋病菌におけるゲノムドラフト配列に基づいた二次代謝産物生合成遺伝子の解析 ○春木洋平・赤木靖典・高尾和実・下元祥史*・曳地康史**・児玉基一郎 (鳥取大農・*高知農技セ・**高知大農)
11:36	124	イネばか苗病菌のジベレリン生合成酵素遺伝子 <i>des</i> および <i>P450-3</i> はイネに対する病原力を抑制している ○島岡舞衣・西堀由記・神谷信孝・藤 晋一*・小嶋美紀子**・榊原均**・北野英己・柘植尚志 (名大院生農・*秋田県大生資・**理研 RCSR)
11:48	125	MoSET1, Histone Methyltransferase Responsible for Methylation of Histone H3 Lysine 4 in <i>Magnaporthe oryzae</i> Is Required for both Activation and Suppression of Gene Expression during Infection-Related Morphogenesis of the Fungus. Kieu Pham Thi Minh, Ba Van Vu, Ken-ichi Ikeda, and ○Hitoshi Nakayashiki
		座長 近藤秀樹 (岡山大植物研)
12:00	126	<i>Red clover necrotic mosaic virus</i> の複製酵素タンパク質 p27 のアセチル化はウイルス感染に関与している ○阪田星子・兵頭究・海道真典・三瀬和之・奥野哲郎 (京大院農)
12:12	127	トウガラシ微斑ウイルス外被タンパク質変異株における <i>N</i> 抵抗性を回避するために必須な変異の同定 ○出原健吾・関根健太郎*・八丈野孝・山岡直人・西口正通・小林括平 (愛媛大農・*岩手生工研)
12:24	128	Further investigation on graft-transmission of RNA silencing and tobamovirus resistance to non-transgenic scions of tobacco and tomato ○Ali, M. E., Kobayashi, K., Yaeno, T., Yamaoka, N. and Nishiguchi, M. (Fac. Agric., Ehime Univ.)

9月27日		第2会場
		座長 清水将文 (岐大応生)
11:00	221	Trichoderma Species Isolated in Ecuador and Their Potential as Biocontrol Agents Against Several Phytopathogens in Japan and Ecuador ○Galarza, L.*, Akagi, Y.**, Takao, K.*, Kim, C.S.***, Maekawa, N.***, Peralta, E.L. ****, Santos O.E. **** and Kodama, M.** (UGSAS*, Fac. Agr. **, and FMRRC***, Tottori Univ., CIBE ESPOL****)
11:12	222	非病原性 <i>Xanthomonas</i> 属細菌を用いたブロッコリー黒腐病の防除効果はファージ Xcp8 加用により向上する ○永井裕史・三宅律幸・加藤晋朗・前川大輔*・井上康宏** (愛知農総試・*クミアイ化学・**中央農研)
11:24	223	圃場における非病原性 <i>Xanthomonas</i> 属細菌のカンキツかいよう病防除効果 ○石井香奈子・加藤光弘・前川大輔*・井上康宏** (静岡農林技研果研セ・*クミアイ化学・**中央農研)
		座長 津下誠治 (京府大院生命)
11:36	224	青枯病菌の <i>hrp</i> レギュロン制御カスケードの植物体内における発現解析 ○大石和矢・木場章範・曳地康史・大西浩平* (高知大農・*高知大総研セ)
11:48	225	NtrB-NtrC 二成分制御系は青枯病菌の病原性に関与する ○内 弘貴・城田雅敏・木場章範*・曳地康史*・大西浩平 (高知大総研セ・*高知大農)
12:00	226	トマト抽出液で培養した <i>Ralstonia solanacearum</i> OE1-1 株の固着とバイオフィルム形成に、レクチン RS-III をコードする <i>lecM</i> が関与する ○森 友花・大西浩平・木場章範・曳地康史 (高知大農)
12:12	227	HR 様細胞死を抑制する青枯病菌エフェクターの機能解析 ○田口義人・吉岡博文*・田中伸和**・秋光和也・市村和也 (香大農院・*名大農院・**広大自然科学研究支援開発セ)
12:24	228	ウリ類炭疽病菌と宿主キュウリ間で形成されるリング状インターフェイスへのエフェクター輸送 ○入枝泰樹・前田 瞳・高野義孝 (京大院農)

ポスター題目一覧

座長 池田健一 (神戸大院農)

- P01 いもち病抵抗性分子育種を目指したイネ DNA 型トランスポゾン挿入変異体の解析
○高原浩之・繁田春香・古賀博則・前川雅彦* (石川県大生資環・*岡山大資源植物研)
- P02 **Overexpression of *Vib-I* gene in *Epichloae festucae* enhances its antifungal activity against grass pathogens.**
○Niones, J. and Takemoto, D. (Nagoya Univ.)
- P03 イネにおけるジャスモン酸応答性揮発性物質 2,4-heptadienal の病理学的役割の解析
○田中啓一朗・谷口しづく・秋光和也・五味剣二 (香川大農)
- P04 イネのジャスモン酸シグナルに関与する OsNINJA1 タンパク質の解析
○田中涼・山田祥子・玉置大介・秋光和也・五味剣二 (香川大農)

座長 五味剣二 (香川大農)

- P05 **Characterization of Rice Heme Activator Protein Gene (*OsHAP2E*) in Response to Fungal and Bacterial Pathogens**
○Alam, M. M., Nakamura, N.***, Ichikawa, H.*, Kobayashi, K., Yaeno, T., Yamaoka, N. and Nishiguchi, M. (Fac. Agr., Ehime Univ., *Natl. Inst. Agrobiol. Sci., **Present Address; Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo)
- P06 β -アミリンを蓄積する組換え体イネにおける防御応答関連遺伝子群の動態
○稲垣善茂・池田宏介・後藤優太・西羅達一朗・中辻由加里・楠和輝・眞野愛弓・Anne Osbourn*・能年義輝・豊田和弘, 白石友紀**, 山本幹博, 一瀬勇規 (岡大院環境生命・*John Inness Centre, Metabolic Biology・**岡山生物研)
- P07 **MAMPs シグナリングにおける受容体様細胞質キナーゼ AtRLCK1 の機能解析**
○新屋友規*, ****・山口公志**・出崎能丈*・成澤知子*・前田佳菜子*・小林佳弘*・鈴木丸陽*・谷本匠*・竹田潤*・船間亮汰**・山田健太**・鳴坂真理***・鳴坂義弘***・賀来華江*・川崎努**・渋谷直人* (*明治大農・**近畿大農・***岡山生科研・****岡山大植物研)
- P08 **flg22 は、シロイヌナズナ *lic1* 変異体において細胞死を誘導する**
○福永 聡・十亀美穂・小野澤 (小森) 真理子・Pawel Bednarek*・高野義孝 (京大院農・*Polish Academy of Sciences)

座長 高原浩之 (石川県大生資環)

- P09 シロイヌナズナ *MEKK1* 遺伝子の欠損により誘導される防御反応表現型に関する解析
○高木桃子・市村和也・Alexander Graf*・David Greenshields**・高木宏樹***・篠崎一雄**・寺内良平***・白須 賢** (香大農・*Sainsbury Lab JIC・**理研 PSC・***岩手生工研)
- P10 **U-box 型ユビキチンリガーゼ PUB25,26 はシロイヌナズナ MAMP 応答性の MEKK1 カスケードを促進的に制御する**
○久保佑太・市村和也・樋尾隼平・溝口 剛*・Alexander Graf**・高橋史憲***・篠崎一雄***・白須賢*** (香川大農・*ICU 院アーツ・サイエンス・**センスベリレーラボトリー・***理研 PSC)
- P11 利尿剤はシロイヌナズナにおいて植物免疫プライミング剤として作用する
○能年義輝・池田美香・白須賢* (岡大院環境生命・*理研 CSRS・植物免疫)
- P12 シロイヌナズナに存在する内生サブレッサー
○川崎達弘*・安倍幸子*・能年義輝*・稲垣善茂*・山本幹博*・一瀬勇規*・白石友紀***・豊田和弘* (*岡大院環境生命・**岡山生物研)

座長 辻 元人 (京府大院生環)

- P13 ***Medicago truncatula* におけるエクト型アピラーゼ *MtAPYL1* の欠損個体の選抜とこれらのエンドウ褐紋病菌に対する応答**
○田中佳織*・石賀康博**・能年義輝*・稲垣善茂*・山本幹博*・一瀬勇規*・白石友紀****・豊田和弘* (*岡大院環境生命・**The Samuel Roberts Noble Foundation Inc.・***岡山生物研)
- P14 植物の防御応答におけるアネキシンのニトロソ化とその機能解析
○中瀬千恵・加藤大明*・竹本大吾・川北一人 (名大院生農・*現岩手生工研)

ポスター題目一覧	
P15	<p>宿主特異的 ACT 毒素によって誘導されるテルペン合成酵素遺伝子の解析 ○宇治雄也・宍戸穂高・小澤理香*・谷口しづく・高林純示*・秋光和也・五味剣二（香川大農・*京都大学生態研セ）</p>
P16	<p>オオムギうどんこ病菌 (<i>Blumeria graminis</i>) の感染過程における第一発芽管の役割 ○菅井維之・新崎裕樹・八丈野孝・小林括平・西口正通・山岡直人（愛媛大農）</p>
座長 竹本大吾（名大院生農）	
P17	<p>オオムギうどんこ病菌エフェクターの分泌及び宿主細胞侵入機構の解析 香口智宏・菅井維之・中下香・久野裕*・小林括平・西口正通・山岡直人・○八丈野孝（愛媛大農・*岡山大学植物研）</p>
P18	<p>植物病原糸状菌感染時において単子葉植物と双子葉植物で誘導されるパピラの形成機序に関する細胞学的比較解析 ○井上加奈子・宮田奈緒・毛呂恵・中屋敷均・朴杓允・池田健一（神戸大院農学研究科）</p>
P19	<p>プロテインホスファターゼ 2A 制御サブユニットをコードする出芽酵母の <i>RTS1</i> のホモログ <i>CoRTS1</i> はウリ類炭疽病菌において病原性、適切な胞子形成に必要である ○川端 昂・深田史美・坂口 歩・久保康之（京府大院・生環）</p>
P20	<p>ウリ類炭疽病菌の選択的なオートファジー因子 <i>CoATG20</i> は宿主への侵入に必要である ○董 闌・深田史美・原田 賢・小玉紗代・坂口 歩・久保康之（京府大院 生環）</p>
座長 赤木靖典（鳥取大農）	
P21	<p><i>Colletotrichum destructivum</i> の細胞学的核型解析 ○上中谷瞳・久保康之*・多賀正節（岡山大院自然科学・*京都府大院生命環境）</p>
P22	<p>糸状菌の細胞質不和合性反応におけるプログラム細胞死機構の解析 ○上森喬大・井上加奈子・木田千晶・中屋敷均・兼松聡子*・池田健一（神戸大院農・*果樹研究所）</p>
P23	<p>トウモロコシごま葉枯病菌の <i>PKA1</i> は病原性を抑制し、<i>PKA2</i> と重複して基本的生育を制御する ○湯谷智・泉津弘佑*・住田卓也・北出雄生・森田篤・田中千尋（京大院農・*滋賀県大環境科学）</p>
P24	<p>トウモロコシごま葉枯病菌の <i>ChSte7</i> 遺伝子は付着器形成や様々な形態形成に必須である ○北出雄生・泉津弘佑*・住田卓也・湯谷智・森田篤・田中千尋（京大院農・*滋賀県大環境科学）</p>
座長 大西浩平（高知大総研セ）	
P25	<p>構成的活性化型 <i>MEK2^{DD}</i> による HR 様細胞死を抑制する青枯病菌エフェクターの選抜 ○佐藤幹也・田口義人・吉岡博文*・秋光和也・市村和也（香大農・*名大農院）</p>
P26	<p>イネかさ枯病菌の病原性におけるフラジェリンおよびタイプ III 分泌機構の役割 ○深川真全・加藤久晴（福井県立大）</p>
P27	<p>Type III secretion system effectors Rip36 of <i>Ralstonia solanacearum</i> and HopH1 of <i>Pseudomonas syringae</i> induce hypersensitive response in nonhost <i>Solanum torvum</i> ○Nahar, K., Taguchi, F., Yamamoto, M., Inagaki, Y., Toyoda, K., Shiraishi, T.*, Ichinose, Y., Mukaihara T.* (Okayama University, *Research Institute for Biological Science, Okayama (RIBS))</p>
座長 向原隆文（岡山生物研）	
P28	<p><i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>tabaci</i> におけるストレス応答に関与する転写制御因子 <i>MarR</i> の機能解析 田口富美子・井上優子*・山本幹博・稲垣善茂・豊田和弘・白石友紀**・○一瀬勇規（岡山大院環境生命科学・*岡山大農学部・**現: 岡山生物研）</p>
P29	<p><i>Xanthomonas oryzae</i> pv. <i>oryzae</i> の二成分制御系因子 <i>StoS</i> は感染植物体での増殖と生存に関与する ○伊川有美・津下誠治・古谷綾子*・落合弘和**（京府大生命環境・*茨城大農・**生物研）</p>
P30	<p>ワサビから分離された <i>Pectobacterium carotovorum</i> subsp. <i>carotovorum</i> に感染する podovirus の宿主因子の探索 ○柏原美紗子・横山美咲・堀池徳祐・露無慎二・平田久笑（静岡大農）</p>

ポスター題目一覧

座長 三宅律幸 (愛知農総試)

- P31 *Pseudoplagiostoma eucalypti* によるユーカリ類葉枯病 (新称)
○井沼崇・間佐古将則*・中島千晴** (和歌山果試, *和歌山果試かき・もも研, **三重大院生資)
- P32 *Fusarium lactis* Pirotta & Riboni によるピーマン果実腐敗病 (病原追加)
○関口博之・野見山孝司・富岡啓介・大崎秀樹・宮川久義・竹原利明 (近中四農研)
- P33 *Colletotrichum gloeosporioides* 種複合体に属するニチニチソウ炭疽病菌の分子系統学的再検討
○富岡啓介*・西川盾士**・森脇丈治***・佐藤豊三**** (*近中四農研・**サカタのタネ・***富山総技セ・****生物研)

座長 三瀬和之 (京大院農)

- P34 *Rosellinia necatrix fusarivirus 1*: 白紋羽病菌から分離された新規 RNA ウイルス
○Rui Zhang・Shengxue Liu・千葉壮太郎・近藤秀樹・兼松聡子*・鈴木信弘 (岡山大植物研・*果樹研盛岡)
- P35 Intragenic rearrangements of a mycoreovirus strain generated in RNA silencing-defective host strains
Eusebio-Cope, A. and ○Suzuki, N. (IPSR, Okayama University)
- P36 Biological and molecular characterization of *Rosellinia necatrix megabirnavirus 1* in an experimental host, *Cryphonectria parasitica*
○Salaipeth, L., Chiba, S., Eusebio-Cope, A., Kanematsu, S.*, and Suzuki, N. (IPSR, Okayama Univ., *IFTS, NARO)

座長 海道真典 (京大院農)

- P37 Mycovirus replication and symptom induction in an RNAi-defective strain of an experimental fungal host
○Sotaro Chiba, Yu-Hsin Lin, Hideki Kondo, Satoko Kanematsu* and Nobuhiro Suzuki (IPSR, Okayama University, *IFTS, NARO)
- P38 植物および昆虫の核ゲノム上に見いだされたベニウイルス様配列
○近藤秀樹・千葉壮太郎・鈴木信弘 (岡山大植物研)

座長 森田泰彰 (高知農技セ)

- P39 秋田県におけるブドウつる割細菌病の発生
○須崎浩一・佐藤 裕* (果樹研ブドウ・カキ・*秋田果樹試)
- P40 種ショウガの温湯消毒における水温がショウガ根茎腐敗病菌の殺菌および根茎の腐敗発生に与える影響
○衛藤夏葉・安井洋子 (和歌山農試)
- P41 LAMP 法による高温性 *Pythium* 属菌の検出技術の開発とその検証
○福田至朗・高橋麗子・黒柳悟・三宅律幸・永井裕史・石黒泰*・渡辺秀樹**・景山幸二* (愛知農総試・*岐大流域圏セ・**岐阜農技セ)

座長 宮川久義 (近中四農研)

- P42 リアルタイム定量PCR法による菌核病生物防除剤 *Coniothyrium minitans* の追跡調査
○宿南良*・岩本豊**・小川宗和***・中屋敷均*・池田健一* (*神戸大院農学研究科, **兵庫県立農林水産技術総合センター, ***石原産業中央研究所)
- P43 *Biscogniauxia* 属菌によるイネいもち病菌の抑制について (2)
○Nguyen Thi Quyet・上田加奈・木原淳一・荒瀬 榮・上野 誠 (島根大生資)
- P44 沖縄微生物ライブラリーを利用したイネいもち病菌の抑制について
○上野 誠・松井 徹* (島根大生資・*琉球大熱生研)

ポスター題目一覧

座長 渡辺秀樹（岐阜農技セ）

- P45 ブナハリタケが生産する揮発性物質 **1-Phenyl-3-Pentanone** の植物病原糸状菌に対する抗菌活性
尾谷 浩・○岡 久美子・西野茂樹*・Roxana Y. Parada**・一柳 剛・霜村典宏・前川二郎
（鳥取大農・*日曹小田原研・**島根大生資）
- P46 植物病害防除に向けた新規素材キチン・キトサンナノファイバーの有効性の検証
○江草真由美・生田 暁子*・伊福 伸介*・上中 弘典**（鳥取大産学連携・*鳥取大院工・**鳥取大農）
- P47 現地圃場におけるカラシナ鋤込み太陽熱消毒による夏作ホウレンソウの土壌病害軽減効果
○伊藤陽子・竹原利明・富岡啓介・野見山孝司・須賀有子・佐藤恵利華・福永亜矢子・関口博之・生駒泰基（近中四農研）

座長 松浦昌平（広島総研農技セ）

- P48 静電場スクリーン展張ケージによるトマトうどんこ病の発病軽減
○岡田清嗣・柴尾学・納村和美*・森川信也・西岡輝美・草刈眞一（大阪環農水研、*パナソニック環境エンジニアリング）
- P49 **Studies on red light-induced resistance in rice against brown spot disease caused by *Bipolaris oryzae*.**
○Parada, R. Y., Mon-nai, W., Ishihara, A*., Ueno, M., Kihara, J., and Arase, S. (Shimane University, *Tottori University)
- P50 培養液の超音波処理による水耕ネギ根腐病菌の殺菌効果
○清水佐知子・山本晃*・山田博子**・香口哲行（広島総研農技セ・*元広島総研西部工技セ・**（株）コンティグ・アイ）
- P51 トマトの極少量培地栽培における *Pythium aphanidermatum* のモニタリング
○石黒 泰・大坪佳代子・玉井大悟*・糠谷 明*・須賀晴久**・景山幸二（岐大流域研セ・*静岡大農・**岐大生命セ）

座長 森 充隆（香川農試）

- P52 亜リン酸液肥の鉄コーティング種子への吹付け処理が *Pythium arrhenomanes* による苗腐病の発生に及ぼす影響
○松浦昌平・佐藤 毅*（広島総研農技セ・*大塚アグリテクノ）
- P53 ダイズの不耕起播種における各種要因の苗立ちへの影響と種子処理剤の効果
○竹原利明・橘 雅明・富岡啓介・竹田博之・伏見昭秀・窪田 潤・大崎秀樹・関口博之・野見山孝司・岡部昭典（近中四農研）
- P54 チャ赤焼病の春～夏における症状
○外側正之（静岡農技研茶研セ）
- P55 菌核病に対する *Coniothyrium minitans*（ミニタン WG®）の連用施用効果
○福森庸平・小川宗和（石原産業株式会社 中央研究所）